

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2014年10月10日

No 322

1部100円

発行者ELIC編集委員会谷口利男
105-0004 東京都港区新橋4-24-3
Tel/Fax (03) 6450-1777 エムエフ新橋601
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

24万人リストラとの闘いを！



電機労働者懇談会（電機懇）第27回総会は、9月20日（土）～21日（日）の両日にわたり、湯河原の「ゆがわら万葉荘」において開催しました。

来賓挨拶は、電機・情報ユニオン米田徳治委員長から行われました。メッセージは、全労連の小田川義和議長、日本共産党中央委員会、労働総研、大阪労連北河内地区協議会から寄せられました。

総会には、日立・東芝・三菱電機・パナソニック・村田製作所・NEC・富士通・沖電気・富士電機・安川電機・サンケン・ルネサスなど18企業（関連会社を除く）と2団体から59名が参加しました。

総会では26名が討論に参加し、福島岩通での再雇用で勝利した報告、JMIU高見澤電機支部と三菱電機派遣切り闘争での支援が訴えられました。24万人もの人減らしリストラとの闘いでは、ルネサスで昨年実施された管理職の降格での団交を実施し解決をめざす取り組みと6000人の広域配転と5400人の早期退職募集がセットされ「転勤できなければ自主退職」を迫る、さらに「処遇制度の大改悪」に対して「反撃全国ピラ」を配布などが取り組みが報告されました。日立関連の職場で退職強要や降格・賃金の大幅減収な

どなで相談が寄せられ電機・情報ユニオンへの加入が続き、相次ぎ団交が行われている状況、青年分野での幅広い活動で前進している姿が生き生きと報告されました。14春闘アンケート葉書を配布し、多くの労働相談が寄せられている実態も報告されました。

電機産業で止まることが無いリストラ・退職強要とのたたかい、労働法制改悪を阻止するたたかいなど、まさに「電機懇」の出番であるとし、電機・情報ユニオンとの協同闘争をより一層強化して諸要求の実現をめざして奮闘する決意を固めました。

今月号の紙面

- ①電機懇第27回総会を開催
- ②主催者挨拶と来賓挨拶
- ③来賓挨拶とメッセージ紹介
- ④議案書報告と会計報告と監査
- ⑤全体討論「発言要旨」
- ⑥～⑪全体討論「発言要旨」
- ⑫全体討論「発言要旨」
- ⑬討論のまとめ、役員紹介
- ⑭私の自慢「トランペッター」松平さん
- ⑮電機・情報ユニオン、青年コーナー
- ⑯告知板、15年アンケート活動開始
日立リストラ反撃集会、集積回路